

地球温暖化防止と再生可能エネルギー

地球温暖化、原発事故後のエネルギー問題に対して、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組みました。

1 CO₂削減と省エネの取り組み

2020年までの長期的なCO₂削減計画

2020年までにCO₂排出量を約35%削減(2005年度対比)する長期計画のもと、取り組みをすすめています。2015年度の時点で、すでに約33%以上の削減を達成しています。

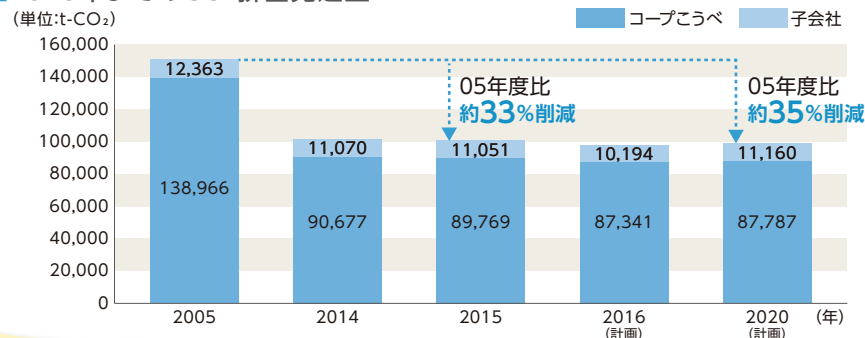
もっともCO₂排出量の多い店舗業態では、冷凍冷蔵ケース・空調機・照明などのうち老朽化したものを順次省エネ対応機種へ入れ替えています。特に、大規模

な改装のあった店舗では、改装前と比較して、3割程度のCO₂削減効果がありました。

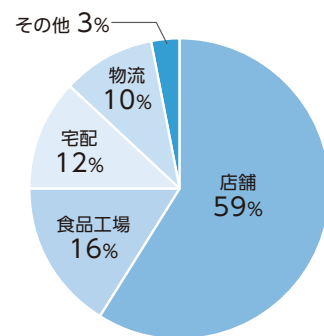
六甲アイランド食品工場では、コージェネレーション設備をはじめとする設備更新・運用改善を継続しています。

宅配では、商品のお届け間違いをなくすことを通じ、走行距離・車両燃料使用量の削減に取り組んでいます。

2020年までのCO₂排出見込量



事業所別のCO₂排出割合



食品工場コージェネレーション設備



改装した店舗(コープ三木緑が丘)



冷蔵ケースの庫外から照らすことにより、効率的に照度を確保

LED照明

2 再生可能エネルギー普及の取り組み

太陽光でつくった電気を コープの店舗の電気として 利用する電力供給事業を開始

再生可能エネルギー(以下再エネ)のさらなる普及を目的に、コープこうべでは、2015年4月から太陽光発電やバイオマス発電の電力(いずれも再エネの電力)を調達し、コープこうべの42施設に電力供給する新たな取り組みを開始しました。

2015年度の再エネ比率(コープこうべが調達した全電力に占める再エネ電力の割合)は37%。これは、日本の再エネ比率12.2%を大きく上回ります。

2016年度に向けて再エネ電力の調達量を拡大し、供給先を88施設にまで拡大するよう準備をすすめました。2016年度の再エネ比率は52%となる見込みです。



組合員向けPRポスター

太陽光発電所を拡大

コープこうべグループでは、再エネの普及を目的に、兵庫県と大阪府に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を推進してきました。2016年3月末現在、合計14か所(年間で一般家庭1,747軒分の発電量)の太陽光発電所が稼働しています。

現在、新たな太陽光パネルの設置をすすめており、引き続き太陽光を利用した発電に取り組めます。

エネルギーについての 学習の取り組み

家庭向けの電力小売り自由化によりエネルギーに対する関心が高まる中、エネルギー学習会をコープ委員会などで8件開催。また、鳴尾浜配送センターの太陽光発電施設の見学会も行われました。

2016年3月に電力やエネルギーについて組合員向けアンケートを実施し、1,995件の回答がありました。さらに、4月16日には「どうやって選んだらいいの? 私たちの電気」と題した電力自由化と再エネの学習会を生活文化センターで開催し75名が参加しました。

省エネ学習は、2014年度に引き続き環境省が推奨する「うちエコ診断」を組合員まつりなどイベント会場で行ったり、学習会形式のプチエコ学習会を実施しました。



(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会常任顧問の辰巳菊子さんによる学習講演

TOPICS

2015年9月には、「おおさか環境賞」の準大賞を受賞しました

1978年にスタートしたマイバッグ運動や店頭でのリサイクル活動、廃棄物の削減など、この間の環境の取り組みや、再エネの電力供給事業の先進的な取り組みが評価されたものです。



おおさか環境賞授賞式
(前列右から2人目 矢田部佳子 コープこうべ理事)

メールマガジン「eこと+」^{プラス}発行

コープこうべでは、再エネ普及に向けて、コープらしい電力事業の取り組みを組合員の皆様と意見交換しながら作り上げていきます。

そこで、再エネの情報やコープこうべの取り組み、学習会・イベントなどの最新情報をいち早くお届けするメールマガジン「eこと+」を発行しました。



- メールマガジン登録についてはこちらにアクセスしてください。
- 登録料・購読は無料です。

TOPICS ノンフロン冷媒の導入

冷凍冷蔵機器や空調機の冷媒に使用されているフロンガスには、オゾン層破壊影響のある「指定フロン」と、温暖化影響がCO₂の数千倍ある「代替フロン」があり、いずれも大気中に漏れいすると多大な環境影響があります。

指定フロンは2020年製造中止が国際条約で決められており、コープこうべでは、計画的に代替フロン使用機器への入れ替えをすすめています。また、フロンガスを使用しないノンフロンの冷凍冷蔵機器をはじめてコープミニ塩屋に導入しました。あわせて、年4回の点検を実施し、フロンガスの漏れいを予防しています。

指定フロン
オゾン層破壊影響あり・温暖化影響大

代替フロン
オゾン層破壊影響なし・温暖化影響大

ノンフロン冷媒(CO₂など)
オゾン層破壊影響なし・温暖化影響小

TOPICS 電気自動車の導入

コープこうべの協同学苑に電気自動車2台を初めて導入しました。走行中のCO₂排出量が低だけでなく、災害時には非常用の電源として使用することも可能です。



施設内で充電



充電コネクタ